

**鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 第3回会議  
会議録**

**1 日 時** 平成30年1月26日(金) 午前10時00分から11時5分まで

**2 場 所** 市役所本庁舎4階400会議室

**3 出席者**

**(1) 委員**

No.	氏 名	所属・職名	備 考
1	鎌田 薫	安房農業協同組合 常務理事	
2	田原 智之	鴨川市漁業協同組合 参事	
3	島田 誠一	鴨川市商工会 副会長	委員長
4	鈴木 健史	一般社団法人鴨川市観光協会 会長	
5	金井 重人	公益社団法人安房医師会 (東条メンタルホスピタル)	
6	内山 達也	学校法人城西大学城西国際大学 観光学部 副学部長	副委員長
7	恵美須 文枝	学校法人鉄蕉館亀田医療大学 副学長	
8	鈴木 親彦	鴨川市金融団 幹事 (館山信用金庫鴨川支店長)	
9	高野 孟	株式会社インサイダー 代表取締役	

(順不同、敬称略)

※欠席

No.	氏 名	所属・職名	備 考
1	角田 憲一	ヤスダファインテ労働組合 執行委員長	

(順不同、敬称略)

**(2) 市**

No.	所属・職氏名	備 考
1	市 長 亀田 郁夫	
2	参 事 岩田 知也	

3	総務課 課長 松本 憲好	
4	財政課 課長 増田 勝己	
5	子ども支援課 課長 羽田 幸弘	
6	農水商工課 課長 石井 利彦	
7	観光課 課長 山口 昌宏	
8	企画政策課 課長 平川 潔	
9	企画政策課 主幹 大久保 孝雄	事務局
10	企画政策課 課長補佐 石井 宏子	〃
11	企画政策課 地域戦略係 係長 滝口 俊孝	〃
12	企画政策課 地域戦略係 主事 小粒 将一	〃

### (3) 傍聴者

1名

## 4 資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・出席者名簿
- ・資料1 総合戦略の見直しについて
- ・資料2 鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るアクションプラン（見直し案）
- ・鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 第2回会議会議録

## 5 会議内容

### (1) 開会（午前10時00分）

### (2) 市長あいさつ

（要旨）

昨年10月に第2回会議を開催して以降、市内4か所での区長等市民懇談会のほか、市が行う事業について公開の場で外部識者と議論を交わし、市民の皆様に判定をいただく事業仕分

け、天津小湊地区小学校の再編についての地区別説明会、そして学校の統合に向けた準備委員会などを開催した。

また、平成 26 年に発足した観光プラットフォームの株式会社化、市立国保病院の整備・更新、鴨川・館山間の地域高規格道路の実現に向けた取組み、君津 4 市とのごみ処理施設統合、水道事業、有害鳥獣対策など、市民の皆様への丁寧な説明を心がけながら、「強い鴨川づくり」に向けた取組みを、スピード感をもって進めてきた。

地方分権・地方創生と言われる中、地方公共団体に求められることは、社会環境の変化を敏感に捉え、これらに対応する独自の成長戦略をたて、実施していくことである。そのためには、攻守ともにきめ細かな、「強い市政運営」が必要不可欠と考えている。行政組織の再編にも取組み、平成 30 年度から部制をスタートさせる。効率的な行政運営を進めながら、今以上の強力な組織体制を作っていくため、縦割りと言われる行政の業務に横串を入れ、更なる連携を深めることを狙いとしている。

私の市政運営の基本的な考え方は、「市民最優先」である。市民の満足度を上げることが、行政の使命であり、情報公開の促進による市民との共通理解を深めながら、行財政改革を進めていくことが、本市における喫緊の課題であると認識している。

皆様には、地方創生を私どもと一体となって推進していくパートナーのお一人として、主体的かつ建設的なご意見をいただくよう、願います。

### **(3) 委員長あいさつ**

(要旨)

前回の会議では、総合戦略の基本目標など、数値目標について改めて検証を行い、総合戦略の見直しの方向について審議した。

本日の会議では、その方向に即した総合戦略アクションプランの見直しなどについて審議を行う。

皆様には、是非、主体的かつ建設的なご意見をいただくとともに、会議の円滑な運営にご協力をいただきたい。

### **(4) 議 題**

鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱第 5 条第 2 項の規定に基づき会議が成立したことについて事務局から報告した後、同条第 1 項の規定に基づき、島田委員長が議長となって議事を進行した。

冒頭、議長から、名簿順に 恵美須 文枝 委員及び 鈴木 親彦 委員を会議録署名委員として指名した後、議事に入った。

#### **議題 1 鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプランの見直しについて**

##### **○鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成 30 年度推進方針について**

資料 1 及び資料 2 により事務局から説明し、資料のとおり承認した。

質疑等は次のとおり。

## ・しごとづくりについて

### (市立国保病院の充実)

#### 《金井委員》

現在人口3万人の市内において、東条・小田・エビハラが療養病棟を所有している状況の中、国保病院についても引き続き療養病棟を存置する点については疑問に感じているのだが、どうお考えか。

現状で需要があることは理解できるが、将来的な展望を考えると、国では在宅での看取りが進められている。国保病院もそういった機能を拡充させる必要があるのではないか。

#### 《市長》

病院の規模については、現在よりも縮小し、診療所にした方が良いのではないかという意見もあるが、近隣の富山国保病院の状況や、本市の医療体制にも問題があることを考慮し、新病院についても療養病棟を存置することとした。

## ・ひとの流れについて

### (戦略・機能的な推進・マネジメント体制の整備)

#### 《鈴木(健)委員》

他の市町村と比べ観光資源は多いが、観光客は減少している。主な原因として、観光資源に魅力がないわけではなく、情報発信が不十分なのではないかと思っている。カモ旅を整備し、ヤフーやじゃらん等にリンクを貼り、全国へ情報を発信する仕組みづくりが、まず必要なのではないか。

新たな観光・交流資源の整備についてはお金がかかることなので、既存の観光イベントについて事業仕分けを行い、財源を生み出すことも、次の段階の取組みとして必要ではないか。

#### 《恵美須委員》

情報発信が遅れているという話はよく聞く。ネットによる収集は若者が中心であり、50代以上の方は聞き込みによるところが大きいので、両方の面からアピールする必要があるのではないか。また、外国人は日本の珍しいものにとっても関心を持っているようなので、そういった点を積極的に発信すべきではないか。

#### 《市長》

情報発信に関しては根本的な見直しが必要だと感じている。観光プラットフォームを通じて、観光協会や商工会、城西国際大学観光学部と共に協議し、環境整備に向けた事業整備に取り組む予定である。

### (スポーツツーリズム)

#### 《鈴木(健)委員》

既存の体育館について、雨天時に野球とサッカーしか使用していない状態は非常に勿体ない。建設工事が見送りとなった多目的施設はバスケットボールのコートを設置する予定

であったが、既存の体育館についてもそういった整備はできないのか。競技人口が全国で一番多いのがバスケットボールであり、その点を踏まえた施設整備をすることで、スポーツツーリズムと結びつくのではないか。

#### ・その他

##### (メガソーラー計画について)

###### 《高野委員》

山の峰を削って谷を埋め、パネルを敷き詰めるという方法は世界でも先例がないことであり、非常に危機感を抱いている。君津市における平地の跡地利用の事例とは全く事情が異なり、山の摂理を壊すことになる。山が死ぬと川が死に、海が死んでしまう。鴨川市の根幹部分である自然のつながりも破壊される可能性がある。

観光の面から考えても、有料道路を抜けて一面にソーラーパネルが広がる光景はあまり好ましくないと思うのだが、市としてどうお考えか。

###### 《市長》

最終的には国・県の判断となるが、市としては、公平かつ中立的な立場で、関係法令に基づいて対応していく。

その範囲で、自然環境の保全等について事業者に対応を求めていく。

#### 議題2 その他

##### ・「鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の運営方法について」の変更について

会議のスケジュールを変更し、本年度の会議は今回をもって終了とすることについて事務局から説明し、承認した。

質疑等は、なし。

#### ・その他

事務局から、来年度以降の会議の日程については、調整の上で改めて連絡することを説明した。

#### (6) 閉会 (午前11時5分)

(以上)

